

このまちの100年

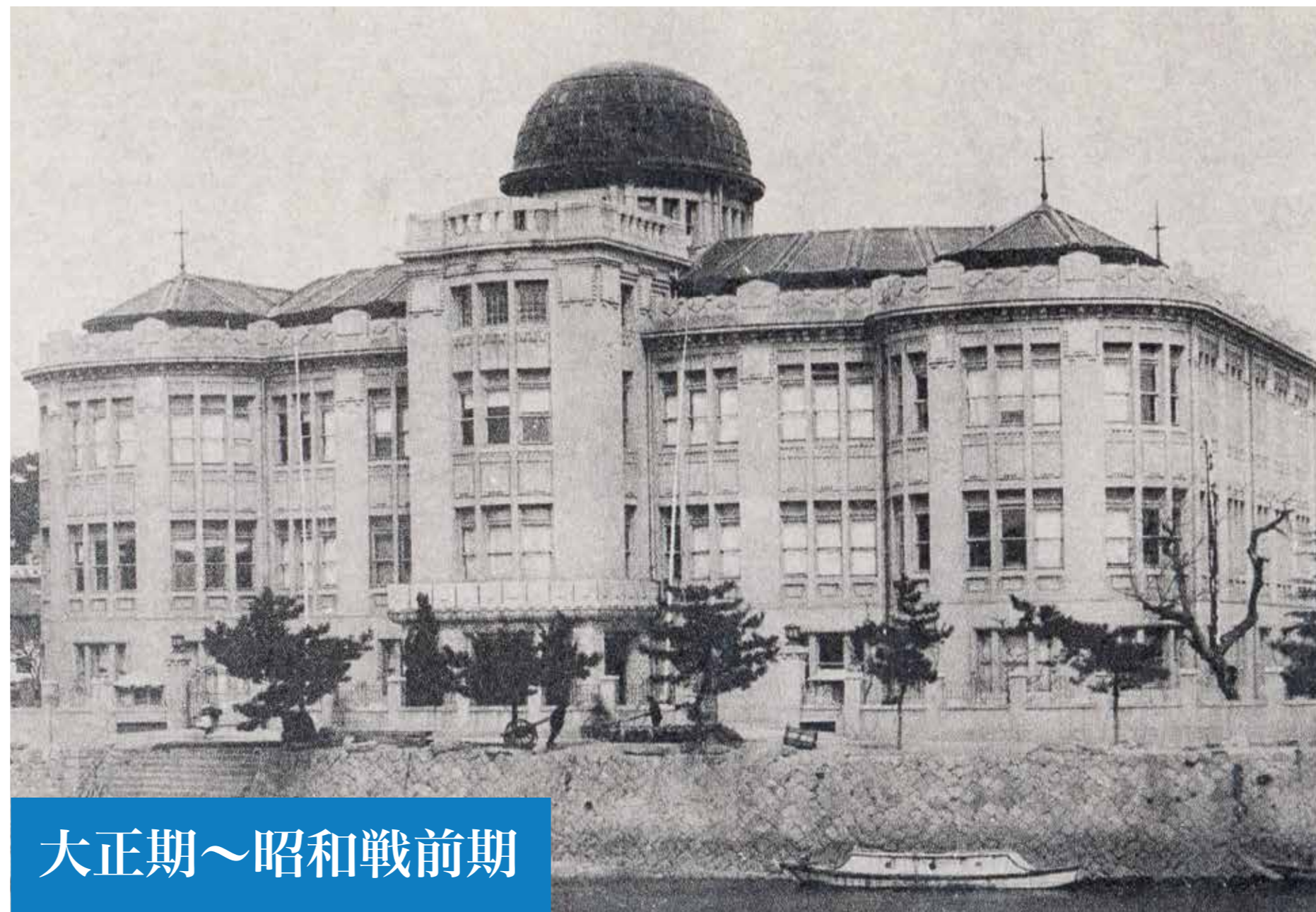
「広島」

中国地方の中心都市で、軍都でもあった広島は、原爆の投下により壊滅的な被害を受けました。翌年には『広島復興都市計画』が定められ新しい都市づくりが始まり、現在では『平和記念都市』として復興を遂げています。



大正期～昭和戦前期

路面電車の行き交う紙屋町の様子



大正期～昭和戦前期

現在の原爆ドームは、大正4年、広島県物産陳列館として開館した



昭和戦前期

大正時代、繁華街の新天地が誕生。映画館や劇場も軒を連ねていた



昭和戦前期

広島県庁。ルネサンス様式の木造2階建てで明治11年完成



昭和戦後期

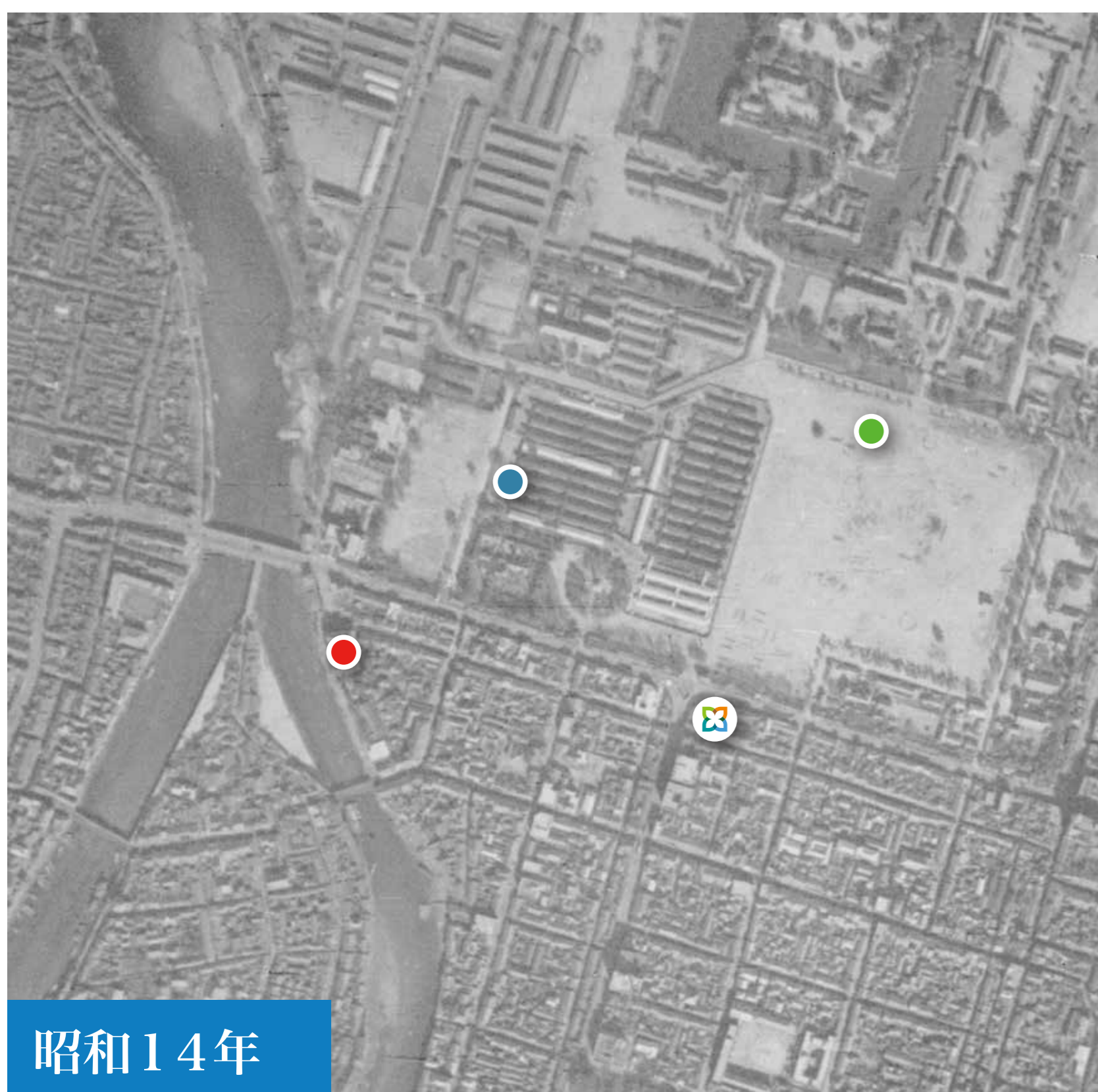
相生橋。原爆投下の際は目標物とされ被爆したが落橋は免れた



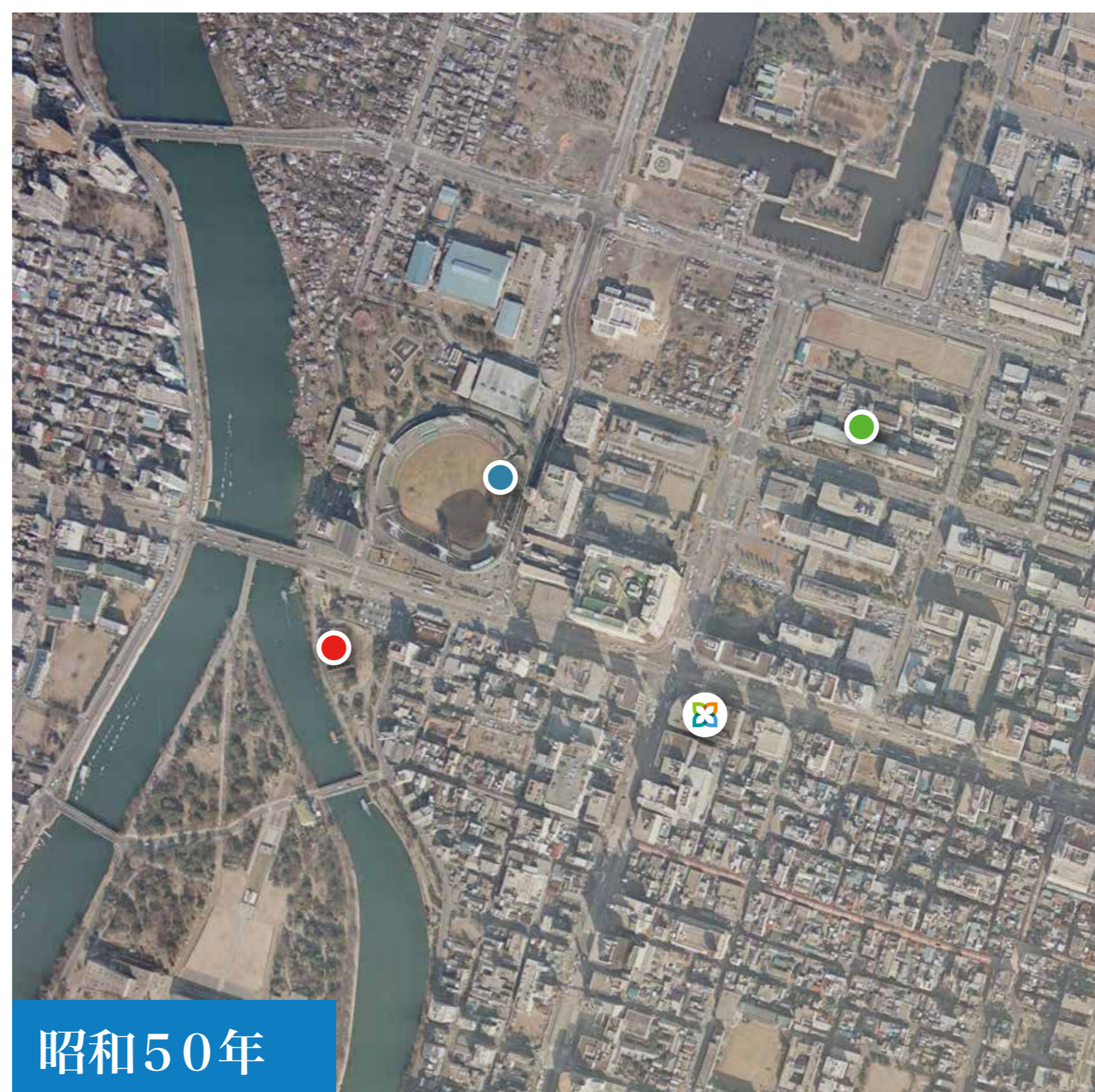
昭和戦後期

広島市民球場。平成21年まで広島東洋カープの本拠地として使用された

上空からみた広島エリア



昭和14年



昭和50年



平成30年

 : 広島陸軍病院／広島市民球場／ひろしまゲートパーク(令和5年～)
  : 陸軍西練兵場／広島県庁
  : 広島県産業奨励館／原爆ドーム
  : 現在地

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ